

# TA 愛らんど TA

四国支部 HP



No.63 号

2026.4.30 発行



発行  
住所  
TEL/FAX  
mail  
URL  
発行責任者

特定非営利活動法人 日本交流分析協会 四国支部  
〒790-0012 愛媛県松山市湊町 8 丁目 111 番地 1 愛健ビル 3F  
089-931-5570  
info@ta-shikoku.com  
<https://www.ta-shikoku.com/>  
日本交流分析協会 四国支部支部長 山本寿美江

No.63 号 巻頭言

## 「任期最後に」

四国支部支部長 山本寿美江



理事としての任期4年も終盤、最後の巻頭言となりました。

就任直後より「コロナ禍を経た後の支部運営」という大きなテーマと、過去から様々に積み上がった課題が見えてきました。この中で、自分のできる事は一体何なのかと自問自答しながらの船出でした。しかし支部会員の皆様には、運営の何たるかもよくわかっていない私を温かい目で見ていただき、協力やご指導を得て、本当に充実した時間を過ごすことができました。

ここは会社組織ではなく NPO 法人であり、私も含めた一人ひとりの会費で成り立っている組織です。支部内で何が行われ、どんなことを議論し決定されているのか。まずは支部会員の声を聴き、できる限り皆様に情報を届ける事から始めていきました。コロナを経て zoom や SNS (LINE や Facebook など) が交流のアイテムとして使われ始めた頃でしたが、支部内ではそういった新しい流れに抵抗感のある方々も一定数いる中でのことでした。抵抗感の源は「やはり、リアル(対面)が一番」という声でした。しかし、これも世の流れ。これからの時代の学びには、どうしても SNS の力が必要です。確かに、リアルに勝るものは無いかもしれませんが、今、手にできるものでどこまで挑戦できるか、それがわざわざ「四国」で開催する大きな目的でもありました。

地道な SNS の活用が、就任最終年度で開催となった松山での年次大会では大いに役に立ち、四県にまたがる支部内はもとより、他支部とも SNS を介した情報共有ができました。文字で連絡していた方々と画面上で語り、その関わりから新たな協力・協働が可能になりました。それがハイブリッド開催となった大会での、なかなか聴けない著名な先生方の講義やトークショーのリアルタイム聴講に繋がり・・・デジタル活用は思っていた以上に視野を広げ、物理的な距離の垣根をも下げることができたのです。一つ一つ積み上げたこれらの動きは他支部に何ら引けを取ることなく、全国一小さな支部の大きな強みになったと思っています。

どれだけ先を見越して「今できること」「今必要とされること」に着手できるか、これを基軸に突っ走った 4 年間でした。時に「A」の力に頼りながら「CP」を使ったり「NP」で丸めたり「FC」の勢いであちこち動き「AC」でチームの求心力を保つ。忙しい日々を楽しんで過ごすことができました。皆様には感謝しかありません。まだまだ力及ばずの部分もありますが、ここから先は次のステージにバトンを渡したいと思います。そして、引き続き支部活動への積極的参加と揺るぎない応援をお願いいたします。ありがとうございました。



### 2025 年度 支部活動への協力金(御寄付)

石村 悦子 様 森 享子 様 弓立 公司 様 (50 音順)

他、6 名の皆様

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。



# 四国支部の動き



## —運営委員会開催—

●運営委員会 ①令和7年度第6回:1/21 ②第7回:3/6 ③第8回:3/28

④令和8年度第1回:4/6 (いずれも20:00~21:50 zoom開催)

運営委員会では主に支部長からの理事会報告と支部内での様々なことに対する話し合いが行われた。以下に上記運営委員会での議事、決定事項を掲載する。

## 理事会報告(決定事項含む)

(1)本部講座の講座料値上げと基幹講座料(講座料+認定試験料+登録料)一本化について

本部講座の講座料について理事会で検討、書面決議により「令和8年度より20%の値上げ」が了承された。(四国支部は本件に反対票を投じた)

基幹講座料徴収の一本化については、1回に収める金額が高額になること、講座のみで試験を受けないという選択ができなくなること、1級2級まとめたの予め受講料支払い案などは、新規会員開拓の足かせになり、各支部運営への影響が大きいなど各支部理事の懸案が相次ぎ、決議ならず。これらについては四国支部運営委員会でも活発な議論が行われ、支部運営を考えた時に総じて反対との意見が多数出た。意見集約し会員の意見として理事会へ提言する予定

(2)会員減少への対応について

各支部ともに退会者が増加し、会員数の減少が進んでいる。(2026年3月:1944名)協会全体では2000名の会員数を目標とする。同様に四国支部会員数も減少、2026年3月現在で99名となる見込み。

## 運営委員会での検討や報告

(1)次期の四国支部理事(支部長)選出について

運営委員会でも四方に声をかけたが、候補者の擁立には困難を極めた。そのなかで、自薦により田中朋子氏が理事に立候補されると報告を受けた。3/12本部選挙管理委員会(選管)の資格審査を経て四国支部に田中氏の適格認定連絡が入り、運営委員会にて審議となった。田中氏の立候補ならびに選管の適格判断について、運営委員からの異議なく了承し結果を選管に報告、4/25に理事候補の確定となった。田中氏には運営委員会への立候補趣意書の提出をお願いした。

(2)理事補欠候補の選出について

運営委員会で討議し、弘岡順子氏を理事補欠候補とし、(1)と併せ選管に報告、確定となった。

(3)次期運営委員について

人数を増やす方向で進め、運営を少人数で抱え込まないようにしていきたい。

(4)支部運営の健全化について

四国支部の経費は月7万円であるが、現在年間で40~50万円のマイナスとなっている。キャリア育成に特化した講座や基幹講座受講後のフォローアップ研修、入門講座の開催の有用性などを議論し、次年度に繋げていきたい

(5)令和8年度支部大会・報告会

6/7 11時よりコムズ(松山市男女共同参画推進センター)で開催。

ハイブリッドでの開催を計画している。



# 令和8年度 四国支部大会

日時 : 令和8年6月7日(日)  
11:00~11:40 会員報告会  
12:00~16:00 支部集会

今年もハイブリッド  
(zoom)開催です!

会場 : 松山市男女共同参画推進センター(コムズ) 視聴覚室AB

参加費 : 2200円 (振込先は四国支部です)

支部集会テーマ : 話して発見 聞いて発見 会うと更に発見が  
~TAって役に立つよ~

「第48回全国年次大会 in 四国」を成功裏に終え、心に残るのは「親交・親密」に満ちた数々の瞬間でした。そして「顔を合わせお互いを聴き語り、今を楽しむ」ことの大事さをしみじみと感じた時間でもありました。ここで、今一度、顔を合わせて話しませんか。声を聴きたい、顔を見て話したいのです。

会場で、zoomで、互いのエゴグラムも用いながらワーク形式で語りあいましょう。今を語り、思いを伝え、こうなりたい、こうなればいい、こんなことを考えている、それらを交流分析7つのジャンルを使って沢山話しましょう。お会いできるのを楽しみにしております。(ご案内の葉書は5月中旬にはお手元に届く予定です)

## 開催講座報告① 2055年度子育て支援特別講座

### 「やりすぎない子育てのススメ」を受講して

やりすぎない子育て?  
ちょうど良い加減?

「OK-OK」に繋がる  
自己肯定感UP



日時:2026年2月21日(土)9:30~11:30

講師:稲田 尚久先生(岡山コミュニケーション研修講演企画)

会場:松山市男女共同参画推進センター 視聴覚室A

参加者:47名 ハイブリッド開催、オンデマンドあり

今回の「やりすぎない子育てのススメ」の講座に参加し、子どもとの関わり方について改めて考える良い機会となりました。特に印象に残ったのは、子どもの行動に対してすぐに手助けをしたり手を出してしまうことは、結局のところ親の都合に合わせて子どもをコントロールしているだけではないか、という気づきでした。親としては良かれと思って行動していることでも、子どもの主体性を奪ってしまう可能性があるのだと感じました。また、いなっち先生がおっしゃっていた「それができないと子どもは死にますか?」という言葉もとても印象に残りました。多くの場合、子どもができないことがあってもすぐに困るわけではなく、親が過剰に心配しているだけなのかもしれないと気づかされました。

今後は子どもの意見をまず受け止め、全否定せず尊重していく姿勢を大切にしていきたいと思います。ただし社会にはルールや暗黙の了解も存在するため、それらを伝えることも大切にしながら、子どもの自己肯定感を損なわない関わり方を心がけていきたいと思いました。

今回の講座で得た気づきを、今後の子育てに活かしていきたいと思います。



執筆:尾立隆文(非会員:高知からご夫婦で会場参加されました)

## 開催講座報告② ～私とTA、そして今～

### 「学んだことを楽しく遣ってみよう！」

日時：2026年3月18日(水) 19:00~20:30

講師：交流分析士インストラクター 秋山 壽美雄 氏

参加者：9名 zoom 開催



四国支部で何度か開催されてきた「私とTA、そして今」。今回は講師に交流分析士インストラクターの秋山 壽美雄氏を迎え、「学んだことを楽しく遣う」をテーマでのzoom開催でした。

基本は学んだことを日常に活かす!! そのなかで講師自身の「私流TAの楽しみ方」「私流TAの活かし方」をお話いただき、エゴグラムや7つのジャンルを用いながら自らを振り返り、それを皆で語りあうという和気あいあいのワークとなりました。

### 「楽しく遣って、私を振り返る」 児玉千幸(交流分析士インストラクター 関東支部)

私はとにかくエゴグラムが大好きです。自分の機能分析を可視化するこのツールは、私の人生を大きく変えました。元々心理学に関心があり、2014年に放送大学へ入学。2018年度に卒業し認定心理士を取得しました。しかし、発達心理学や認知心理学など「相手を理解する」学問が中心で、無意識に自分を棚に上げた「I'm OK, You're Not OK」の他責的な第三の立場に留まり、対人関係のトラブルも多かったです。

転機は2020年9月、鈴木佳子先生の講演に感銘を受けて関東支部に入会。2級を学び始めた頃の私はNPとFCが異常に高く、周囲から「お節介」と言われることもしばしば。それがエゴグラムで可視化され、ようやく「私自身」の姿に気づくことができたのです。

学びを深める中で、私の立場への気づきは第三から第二、そして第一へと変容していきました。1級もインストラクター試験も2回目で合格した「劣等生」の私ですが、だからこそ確信を持って伝えられること、それは「常にアップデートし続ける大切さ」です。キャリアコンサルタント取得を経て、今の私のエゴグラムはAが19と変わりました。考案者ジョン・M・デュセイへの敬意を忘れず、これからも自分を映す鏡としてエゴグラムを愛し、学びをアップデートしていきたいです。

秋山インストラクター、エゴグラムの楽しさや奥深さも詰まった実りある90分講義、ありがとうございました。今回の講座を受講して、これまでの自分自身を振り返り、今後も「私流のTAの活かし方」を考えていきたいと改めて思いました。

日本一周 TA各支部HPマップ  
講座・研修・楽しいおしゃべりしてますよ!

九州支部  
中国支部  
関西支部  
四国支部  
中部支部  
関東支部  
北陸支部  
東北支部

全国年次大会in東京  
協会創立50周年記念大会  
令和8年10月10・11日  
神田明神ホール

#### 編集後記

爆走する支部長の後ろを追いかけ「会員の心に届く広報」を精いっぱい考え動いた、悔いのない3年半でした。今後は、四国支部の新たなステージを少し離れて応援しつつ、息子の大学受験や娘の学生生活を支える(あ、勿論主人も💧)という「TAを日常に活かす時間」に突入です。全国年次大会はじめ、沢山の刺激を頂けた時間、全国の素晴らしい方々との出会い、学び、関わりに心から感謝しています。ありがとうございました。(四国支部デジタル広報部 廣地祿代)